

「外国人雇用状況」の届出状況(令和元年10月末現在)

1 外国人労働者の状況

労働者全体の状況について

- 外国人労働者数は4,946人。
前年同期比で557人(12.7%)増加。

○ 国籍別の状況

- ・ベトナム 1,691人(全体の34.2%) [前年同期比381人(29.1%)増加]
- ・中国 1,633人(同33.0%) [同43人(2.7%)増加]
- ・フィリピン 490人(同9.9%) [同14人(2.9%)増加]

○ 在留資格別の状況

- ・技能実習 3,269人(全体の66.1%) [前年同期比13.9%増加]
- ・身分に基づく在留資格 751人(同15.2%) [同3.6%増加]
- ・専門的・技術的分野 402人(同8.1%) [同11.0%増加]
- ・技能実習の構成比は、全国における構成比(23.1%)と比べると高い。

○ 地域別の状況

- ・徳島地域 2,061人(全体の41.7%) [前年同期比17.4%増加]
- ・鳴門地域 1,065人(同21.5%) [同23.8%増加]
- ・吉野川地域 612人(同12.4%) [前年同期と同じ]

○ 事業所規模別の状況

- ・「30人未満事業所」が最も多く、外国人労働者数全体の50.2%を占めている。
- ・「30人未満事業所」の構成比は、全国における構成比(外国人労働者数全体の35.4%)と比べると高い。

2 事業所の状況

事業所全体の状況について

- ・ 外国人を雇用している事業所は1,051所。
前年同期比で117所(12.5%)増加。

○ 地域別の状況

- ・ 徳島地域 456所 (全体の43.4%) [前年同期比15.7%増加]
- ・ 鳴門地域 265所 (同25.2%) [同 16.2%増加]
- ・ 吉野川地域 123所 (同11.7%) [同 8.8%増加]

○ 事業所規模別の状況

- ・ 「30人未満事業所」が最も多く、事業所全体の68.6%を占めている。
- ・ 「30人未満事業所」の構成比は、全国における構成比(59.8%)と比べると高い。

3 産業別の状況

- ・ 外国人労働者が就労している業種、外国人労働者を雇用する事業所数ともに、製造業が最も多い。
- ・ 製造業に就労している外国人労働者数は、外国人労働者数全体の43.5%
外国人労働者を雇用する製造業の事業所は、事業所全体の28.9%。
- ・ 製造業の構成比は、全国における構成比(外国人労働者数全体の29.1%、
事業所全体の20.4%)に比べると高い。
- ・ 農業・林業に就労している外国人労働者数は、外国人労働者数全体の12.8%、
外国人労働者を雇用する農業・林業の事業所は、事業所全体の15.6%。
- ・ 農業・林業の構成比は、全国における構成比(外国人労働者数全体の2.1%、
事業所全体の4.1%)に比べると高い。

4 派遣・請負の状況

- ・ 外国人労働者を雇用している事業所のうち、労働者派遣・請負事業を行っている事業所数
・ 51所 (事業所全体の4.9%)
- ・ 労働者派遣・請負事業を行っている事業所に就労している外国人労働者数
・ 250人 (外国人労働者全体の5.1%)